

(屋外用)

SmartArchi ローポールライト

品番 YYY76100ULE1 YYY76110ULE1 YYY76120ULE1 YYY76130ULE1

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

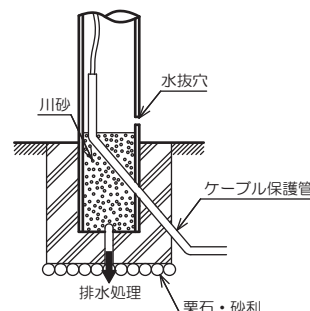
⚠ 警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に進行。施工に不備があると落下・感電・火災・ポール転倒の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 以下の場所では使用しない。絶縁不良による火災・感電の原因となります。
・海岸隣接地帯・温水プール等の湿気の多い場所・振動や衝撃の多い場所・雨水や雪解け水等で冠水の恐れのある場所・腐食性ガスが発生する場所
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災・故障の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理（融着テーピング等）は確実に進行。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続（ねじり接続等）はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。

⚠ 注意

- この器具は一般屋外用（防雨型）器具です。それ以外の場所では使用できません。
落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の耐風速は6.0 m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では使用しないでください。
灯具落下・ポール転倒の原因となります。
- ポールは必ず垂直に建ててください。器具落下の原因となります。
- 水の溜まる場所には取り付けないでください。結露によるポール折れの原因となります。
- ポールの水抜き穴は絶対にふさがないでください。
絶縁不良による感電や、腐食によるポール倒れの原因となります。
- ポール内には水がたまりやすいので十分な排水処理を行い、
地中からの湿気を防止するために、ポール内へ川砂を地面より上部まで入れてください。
絶縁不良による感電および腐食によるポール折れの原因となります。
- 周囲温度は、-5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、火災の原因となります。
- 積雪地域でご使用の場合は、積雪期間、器具を取り外すか雪に埋もれないよう除雪してください。器具破損の原因となります。
- 電源線工事は「内線規程 2400節 地中電線路」または「JIS C3653 電力用ケーブルの地中埋設の施工方法」にしたがう。電源線工事に不備があると、感電や故障の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用してください。不備があるとけがのおそれがあります。

コンクリート基礎の場合



■定 格

品 番	定格電圧	周波数	定格消費電力	入力電流
YYY76100ULE1	AC100V	50/60Hz 共用	6.8W	0.08A
YYY76110ULE1 YYY76120ULE1 YYY76130ULE1			11.5W	0.12A

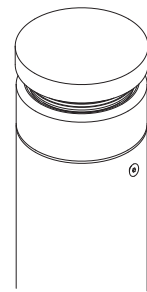
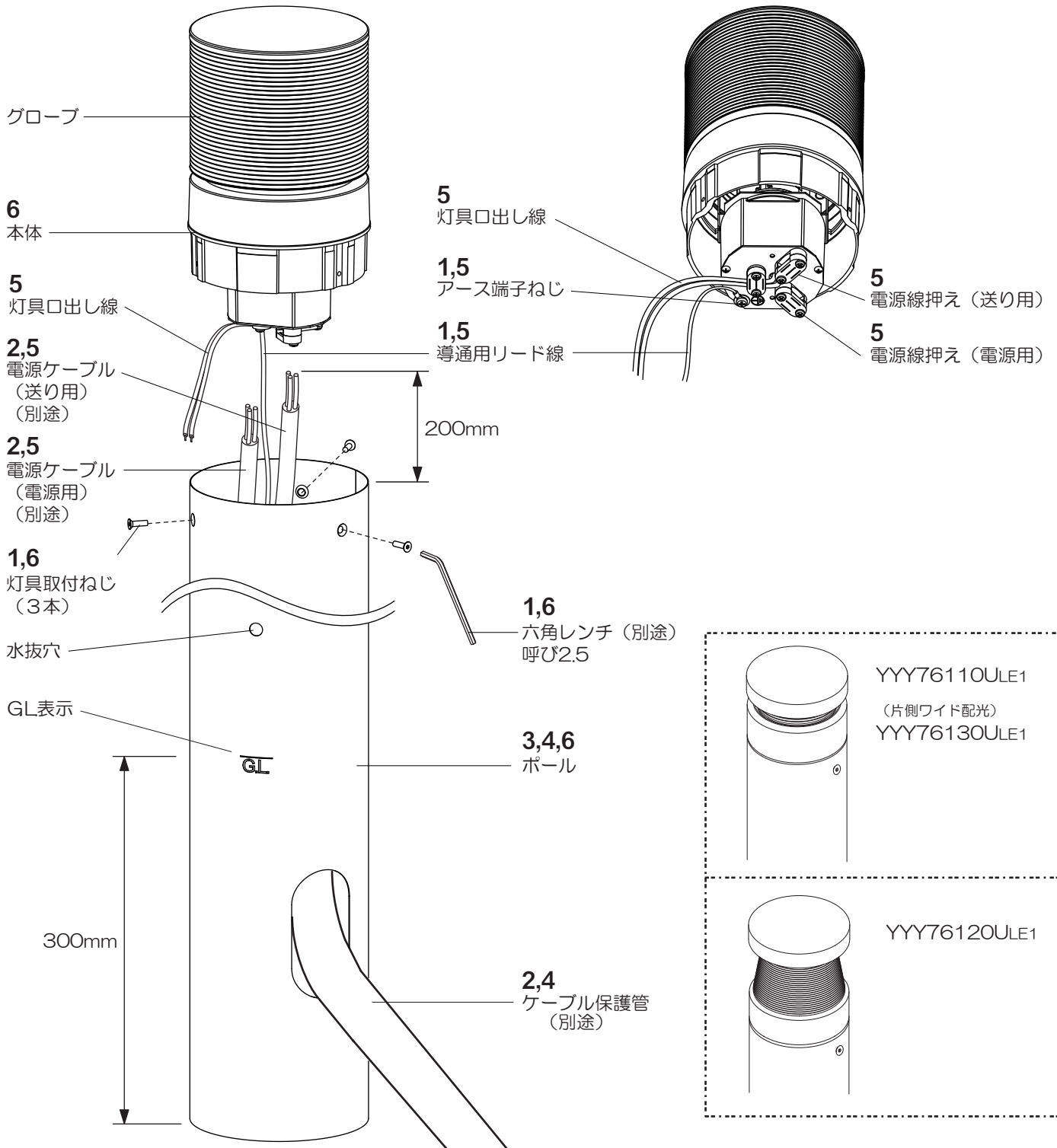
各部のなまえと取付方法



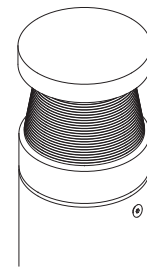
警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

※YYY76100ULE1の例で説明しています。



YYY76110ULE1
(片側ワイド配光)
YYY76130ULE1



YYY76120ULE1

1. 施工前の準備

- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。
- ポールを養生する場合、粘着テープを塗装面に直接貼り付けしないでください。塗装剥離の原因となります。
- 六角レンチ（呼び 2.5 別途品）を用いて、灯具取付ねじ（3本）をゆるめ、灯具を取り外してください。
導通用リード線がつながっていますので無理に引っ張らないでください。
- アース端子ねじを取り外してください。

各部のなまえと取付方法（続き）

2. ケーブル保護管（別途）にパテ詰めなどの処理を行う

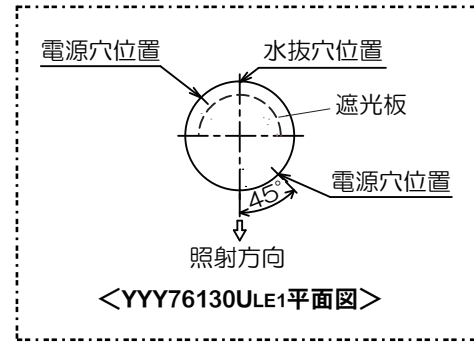
- 電源ケーブル（別途）の長さは、ポール長さよりも200mm程度長くしておいてください。

3. ポールの建柱を行う

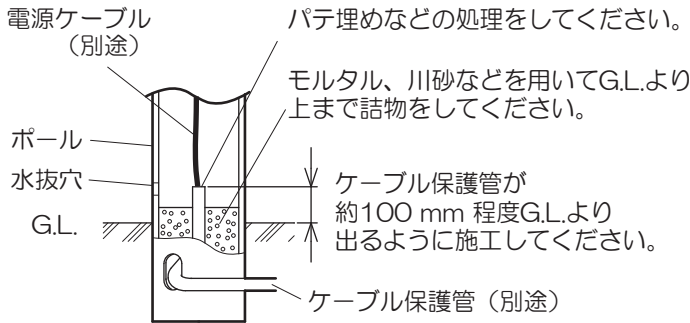
- コンクリート埋設工事を行い、ポールを建柱してください。
不備がありますと、ポール倒壊の原因となります。
- ポールまでの配線工事は、電気設備技術基準、内線規程に従ってください。

<YYY76130ULE1を取り付けする場合>

器具に方向性がある為、水抜穴が照射方向の背面向くように建柱してください。



4. ポール下部の湿気対策を行う（下図にその一例を示します。）



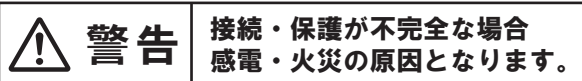
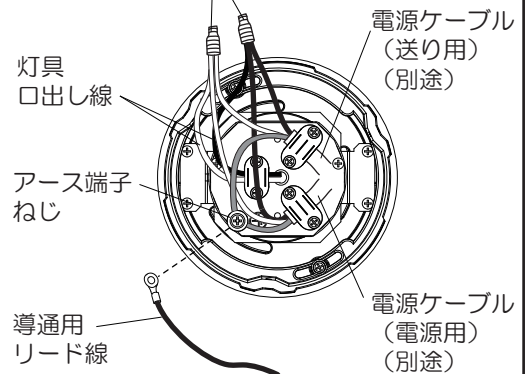
5. 灯具口出し線に電源ケーブルを、アース端子ねじに導通用リード線を結線する

- ①電源ケーブル（電源用、送り用）のシース部を電源線押えでしっかり固定する。
押さえ量はケーブル外径の1/4程度としてください。
押さえ込みすぎると絶縁破壊の原因となります。

接続部をスリーブ等で結線後、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理を行ってください。



- ②電源ケーブルと灯具口出し線を接続してください。
 - ・灯具口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
 - ・灯具口出し線の線種：架橋ポリエチレン絶縁電線
灯具口出し線の線径：0.75mm²
- ③アース端子ねじからD種（第3種）設置工事を行ってください。
 - ・手順1で取り外した導通用リード線を、アース端子ねじへ同時に接続してください。
接地が不完全な場合、感電の原因となります。

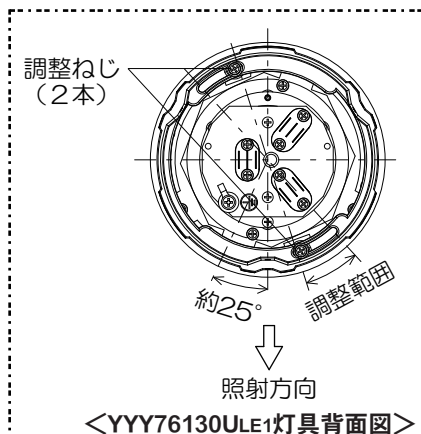


6. 本体をポールに取り付ける

- 六角レンチを用いて、灯具取付ねじ（3本）で、本体をポールに取り付けてください。（推奨締付トルク 1.0 N・m）

<YYY76130ULE1を取り付けする場合>

照射方向は右図のように左方向に約25°まで調整できます。
調整ねじ（2本）をゆるめて調整してください。
調整後、調整ねじを締め付けしてください。（推奨締付トルク1.0N・m）



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがあるなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると感電・火災の原因となります。
- グローブは樹脂製ですので衝撃が加わると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- かけやひび割れの発生しているグローブは使用しない。絶縁不良・落下の原因となります。



注意

- 照明器具には耐用年限があります。設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 ※：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・LED光源は光束維持時間が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：CLX2021JA)点検せずに長期間使い続けるとまれに感電・火災などに至る場合があります。
 - ・点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下に至る場合があります。
- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 草や木の葉等で器具が埋まらないようにしてください。火災の原因となります。
- 草刈機で器具にキズをつけないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 積雪時は、器具を取り外すか雪に埋もれないように除雪してください。器具破損等による感電の原因となります。

■LED照明器具の光束維持時間は、40,000時間(光束維持率70%)です。

使用上のご注意

- LEDには光のバラツキがあるため同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

- 器具の清掃について
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
グローブにはUVカット処理を施し紫外線による変退色を低減させておりますが、多少の変色は予めご了承ください。
また著しい変退色の場合は、補修部品にて交換をおすすめします。

■リサイクル 照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月~土/9:00~18:00(祝日・3が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) Help desk for foreign residents in japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)